



# 元気とタイムリーな情報を提供する 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成25年10月14日 第635号「週刊五十嵐レポート」

## 川越市倫理法人会モーニングセミナーにて

10月11日(金)、埼玉県川越市倫理法人会のモーニングセミナーにて講話をさせていただきました。川越に来たのは久しぶりです。初代会長K氏の会社YYL社に2001年10月から2004年6月まで事業再建のお手伝いをしていました。今ではK氏と笑って昔話をしましたが当時は生きるか死ぬかの瀬戸際でした。

<私が関与した2001年10月には既に負債総額130～150億円、それが約3年後、再建スタートの2004年6月には30億円、約100億円分が圧縮されました。当時大口債券者はRCC(整理回収機構)。再建できるか否かはRCCの影響が大きく関わっていました(経営者の資質と姿勢が問われました)。

私は当時、K社長に「この会社を再建するには社長の首を変えるか、社長自身が変わるかしかない」と言いました。K社長でこの会社を再建できるのか否か、債権者から問われていました。再建するための経営戦略は重要でしたが、その戦略を実践する従業員を引っ張れるかどうか。K社長の今までの言動では人は動きません。

組織を統率するための一環として「トイレ掃除」がありました。最初はK社長と私が一緒になってトイレ掃除をしました。あまりにもトイレが汚いので、「この汚さは会社の縮図である」と。それからK社長は毎日トイレ掃除をしました。1年経つと社長ばかりではなく、従業員が自主的に動くようになりました。

およそ1年の間(2003年5月～2006年6月)、K社長と私は直接会って打ち合をわせをする以外に、お互い手紙のやりとりをしました(K社長、私ともに24通ずつ)。私の叱咤激励の内容が多かったです。

今のYYL社の負債額は10億円を切りました。健全経営をされています。>

今の私があるのは2001年～2004年までのYYL社への再建支援のおかげです。ここでのコンサルティングが血となり肉となりました。有難うございます。

ちょっと  
気になる出来事

埼玉県川越市倫理法人会モーニングセミナーのご縁でまたYYL社のK会長(当時社長)と再会。

企業が継続できたのは、「正直」に生きてきたからだと言っています。悪い情報があっても包み隠さず、公開すること。YYL社は温浴施設のため、保健所と深い関わりがあります。何かあるとすぐに連絡し、今後の対処方法を学んでいきます。あらゆる事象に対してのマニュアルもできあがりました。日々の継続が他社にはないものになってきました。原点は「正直」。

近頃、「隠す」「隠蔽」したがる輩が多い。「正直者は馬鹿を見る」ではなく「正直者は応援団が増える」。



### 清掃とは

整理がすんだらすぐ清掃。

整理の次は清掃です。整理すると不要なモノがなくなり、スペースが空きます。不要なモノが長期間保管されていると、保管してあった場所が汚れていることが多いものです。そこで整理がすんだらすぐに清掃をすることが重要です。

清掃の清という字は、水(サンズイ)で青々とさせる。すなわち拭くという意味を持っています。清掃の掃は手(テヘン)にホウキ(箒)を持つ、すなわち掃くという意味を表します。拭いて掃くのですからまさに掃除そのものですね。

清掃とは、「基準面についた汚れを分離し、その汚れを集めること」。清掃の基準は基準面をいつもキレイにする、あるいは新品の状態にすることなのです。

越前行夫「5Sのすすめ方」(日本能率協会マネジメントセンター)

週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行 月刊五十嵐レポートダイジェスト

町コンランチェスター経営戦略塾 毎週日曜日 午前10時～12時。

町コン・ランチェスター経営戦略セミナー 毎月東京開催

株式会社五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051 東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

